

## 平成20東御市議会第3回定例会市長招集あいさつ

(平成20年9月2日 午前9時開会)

### はじめに

この夏は、梅雨明けが例年よりも早く、7月上旬から市民まつりを経てお盆の前までのおよそ一ヶ月半は3年続きの猛暑・酷暑の毎日でした。

この間、お隣の中国ではアジアで三度目となる北京オリンピックが開催され、限界に挑戦する選手の活躍に感銘を受け、希望と勇気に胸躍らせました。

この9月6日からは同じ会場を使って北京パラリンピックが開催されます。引き続き熱い声援を送りたいと思います。

みまきニュードカンコが終わり、お盆明けからは一転して、涼風<sup>りょうふう</sup>どころか肌寒ささえ覚える日があったかと思えば、残暑厳しい日が続きました。

太平洋高気圧の勢力分布が主要な原因となるそうですが、局地的な集中豪雨等、お天道様任せとはいえ、最近の異常気象が生活や生産活動に与える影響を考えると、看過<sup>かんか</sup>するわけには行かなくなります。

収穫の秋を迎え、主要作物の今年の出来栄えが気にかかる

ころでもあります。

さて、本日ここに平成20年東御市議会第3回定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては、何かとご多端のところ定刻にご出席いただき、ここに開会できますことを厚く御礼申し上げます。

私が市政をお預かりして四ヶ月、行政経験の乏しさをいち早く解消すべく庁内の会議に重きを置き、積極的に職員と対話をし、進んで現場にも足を運び、話し合い重視・現場重視の姿勢を貫いてまいりました。

開かれた市長室を標榜<sup>ひょうぼう</sup>し、市の内外を問わず多くの皆さんとお会いし、お考えやご意見を拝聴する中で、沢山の課題を抱えながらも行政に求められていることがらの多さを改めて痛感しております。

公約の実現に向け、最初の一步を確実に踏み出すべく、様々な施策への取り組みがようやく緒<sup>ちよ</sup>に就いたところです。

その考えの一端を今回の議会定例会にお示しさせていただきます。議員各位をはじめ、市民皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## □諸般の情勢

前回6月定例会以降の市内の動きを振り返りますと・・・

### (まちづくり懇談会)

6月定例議会の終了を待って、「まちづくり懇談会」を開催致しました。

今回は、市内5地区において、各区や各種団体の役員さんの他に一般の皆様にも門戸を広げ、議員各位にもご出席をいただきました。参加者数327名、地域独自の課題や市全体に及ぶ問題まで、真<sup>しん</sup>に豊かな市づくりのための貴重な意見や提言をいただき、従来にもまして活発な懇談が繰り広げられました。

### (市政への提言)

市民の皆様の、市政に対するご意見をお寄せいただくために今年も6月に意見箱を設置し「市政への提言“わたしの一言”」を、実施いたしました。

今回は84件の貴重な意見や提言をいただき、提言をいただいた方々には直接回答をするとともに、一部については市報に掲載いたしました。

(市民病院改革と医療の充実、医師の確保のために)

市役所内に副市長をトップとするプロジェクトチームを立ち上げました。

産科の開設、小児科の充実のための医師確保に努め、併せて診療科目や経営形態のあり方などについての見直しを行い、自治体病院として健全な運営が出来るような方策を追求してまいります。

(市民が主役の市民まつり)

8月2日には、街路事業の完成した田中商店街において第4回東御市民まつりを開催致しました。

絶好の天候にも恵まれて踊りには区や企業など過去最高の59連が参加し、約4,300人の踊りの列が商店街を埋め尽くした様は元気と熱気に満ち溢れ、明日の東御市に<sup>こうみょう</sup>光明を見た想いが致しました。

企画から運営まで携わっていただいた実行委員の皆様には改めて敬意を表し感謝を申し上げます。

(安心安全のまちづくりに向けて)

地震をはじめ、近年多発する災害等不測の事態に対処するため、一昨日の8月31日に平成20年度の地震総合防災訓練を開催致しました。

当日は、休日開催ということもあり、モデル区の田中小学校会場のほか、各区をはじめ、日赤奉仕団・消防団・交通安全協会・市内企業などから総勢3,942人もの大勢の皆さんにご参加をいただき、区ごとに避難訓練・消火訓練・炊き出し訓練・救助救出訓練など有事を想定した訓練に取り組んでいただき、所期の目的を達成することが出来ました。

(将来を担う若者たちの活躍)

市の将来を担ってくれる、若者たちが活躍しています。

小中学生がニュースなどの番組制作に取り組む「キッド・ウィットネス・ニュース」の世界大会に、2007年度東部中学校放送委員会の生徒が製作した番組が日本代表として出品され、見事に環境部門のグランプリを受賞致しました。

世界に羽ばたこうとする芽がわが市からも生まれたことは特筆すべきことがらです。

8月15日には、約270人の門出を祝う成人式が文化会館サ

ンテラスホールで厳粛なうちに行なわれました。

企画・運営はすべて自発的に結成された実行委員さんによる手作りで、暖かさを感じました。

人生の区切りを迎えた皆さんには、生まれ育った故郷に誇りをもって貰えるようにしたいものです。

東部中学校の柔道部の生徒さんが並み居る強豪を撃破し、北信越大会・全国大会へと駒を進めました。

柔道は、ここ数年小学生の部でも連続して全国大会出場を果たしており、指導をされる先生方の熱意には頭が下がります。

市内各小学校を通じて交通少年団や緑の少年団が結成され、学校では学べない社会体験を通じて、愛する東御市をよりよくするための活動に精を出してくれています。

この三ヶ月ばかりの間の主な動向について申し上げましたが、「小さくともキラリと光る東御市」づくりに向け、引き続き初心を忘れずに市政に携わってまいる所存でございますので、市民の皆様並びに議員各位におかれましては、尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## □本定例会の上程議案

それでは、本定例会に上程致します議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

### (平成 19 年度決算について)

まずはじめに、平成 19 年度の各会計の決算について申し上げます。

議案第 61 号から議案第 71 号まで 一般会計、特別会計、事業会計合わせて 11 件でございます。

平成 19 年度の日本経済は、前半は堅調な企業業績や個人消費の回復など緩やかな景気回復基調を維持しましたが、後半にかけて米国経済の減速や原材料価格の高騰などの影響により、企業部門・家計部門ともに先行き不透明感のなかで推移しました。

平成 19 年度の国内総生産の名目成長率は 0.6%であったものの、実質成長率では 1.6%となり、政府見通しの 1.3%を上回りました。

こうした中であって、19 年度東御市の一般会計におきましては、一部の事業を繰越いたしましたが、予定致しました事業は、

概ねおおむね順調に実施することができました。

前年度からの繰越事業においては、クリーンセンターの排ガス高度処理・大規模改修施設整備事業、田中駅南口整備事業、公共土木施設災害復旧事業などの事業を実施してまいりました。

次に、合併特例債事業として、クリーンセンターの排ガス高度処理・大規模改修施設整備事業、田中駅南口・道路整備事業などの市道整備事業、田中牧家線都市計画街路事業負担金、滋野コミュニティセンター建設事業、消防施設整備事業、合併振興基金積立事業ほか繰越事業を含め12事業を実施致しました。この他、凍上災害の復旧工事など、計画いたしました事業が順調に進捗しんちよくしたところであります。

また、各特別会計、企業会計におきましても、ほぼ順調な事業実施が行われ、地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計、老人保健特別会計と東御市民病院事業会計の3会計を除いては、いずれも黒字の決算になりました。

これもひとえに議員各位をはじめ、市民各位の格別のご理解とご協力の賜物と心から感謝を申し上げる次第であります。

各会計の詳細な決算状況につきましては、後ほど会計管理者及び関係部長から申し上げますので、私からは一般会計決算につきましてその概要を申し上げます。

19年度の一般会計予算は、当初126億5,700万円でスタートしましたが、定例議会等で5回の補正を行い最終予算額は、142億4,800万円ほどになりました。これは前年度より9億2,000万円、率にして6.1%の減となっております。

歳入決算額は、142億7,012万6,000円で前年度に対し4億7,374万円、率で3.2%の減となり、

歳出決算額は、137億4,269万7,000円で前年度に対し4億1,486万円、率で2.9%の減となりました。

歳入歳出の差引額は5億2,700万円余りとなり、20年度への繰越明許費の繰越財源を除いた実質収支は、4億8,861万5,000円の黒字決算となりました。

このうち2億4,430万8,000円を地方自治法の規定により財政調整基金に積立てることと致しました。

次に、普通会計ベースの主な財政指標につきまして申し上げ

ます。

まず、自治体の標準的な一般財源の規模を示す標準財政規模は、83億8,700万円余りで、前年度に対して1億6,300万円、1.9%の減となりました。一方、財政力指数は3ヶ年平均で0.500となり、前年度の0.489を上回りました。

次に、経常収支比率につきましては、18年度の87.6%から91.9%と下水道事業への繰出金の一部が臨時的経費から経常的経費に振り変わったことから4.3%増加となりました。経常収支比率の上昇につきましては、今後とも充分配慮してまいります。

また、今年度から新たに算定することになりました健全化判断比率につきましては後ほど報告させていただきますが、国の示す基準の範囲内にあり、財政の早期健全化段階にはないものと考えております。

なお、起債総額であります。19年度に合併特例債など、新たに13億5,540万円を借り入れ、償還後の19年度末の起債現在高は149億1,000万円ほどとなり、前年度対比

1億7,500万円ほどの減となりました。また、基金につきましては、目的が同様などの基金を統廃合し7つの基金を廃止しました。

基金現在高は、57億5,900万円ほどとなり、前年度対比4,900万円ほどの減となりました。

#### (平成20年度補正予算について)

続いて、20年度の補正予算につきまして申し上げます。

議案第72号から議案第78号まで 一般会計、特別会計、事業会計合わせて7件でございます。

まず、一般会計補正予算第2号でございますが、歳入歳出予算に2億2,977万7,000円を追加いたしまして、総額を139億4,033万4,000円といたすものです。

その主なものにつきましては、鞍掛地域への企業誘致に伴う整備事業をはじめ、市道舗装修繕、市民病院への婦人科開設及び産科を含む病院改革プランの作成に伴う病院事業会計への繰出金、灯油高騰に伴う福祉灯油給付事業、くるみ被害木対策に係る「強い園芸産地育成事業補助金」、農地復旧に係る土地改良

事業補助金、子供支援ステーション事業に係る備品購入や工事費用のほか、身体教育医学研究所法人化に要する費用等の増額補正をお願いするもので、繰越金等を財源として充当するものでございます。

次に、国民健康保険特別会計は、過年度療養給付費の精算金等の増額をお願いするものです。

老人保健特別会計は、医療給付費負担金等の補正をお願いするものです。

介護保険特別会計は、前年度介護保険給付費の精算金の増額をお願いするものです。

水道事業会計は、配水管改良工事等の増額をお願いするものです。

下水道事業会計は、浄化センター設備修繕等の増額をお願いするものです。

病院事業会計は、婦人科開設及び産科を含む病院改革プランの作成に伴う増額をお願いするものです。

### (条例の制定、一部改正について)

続いて、条例の制定並びに一部改正につきまして申し上げます。

議案第 79 号から議案第 90 号まで 今回、新たに制定致します条例が 1 件、一部を改正するものが 11 件、合わせて 12 件でございます。

議案第 79 号 条例の新設につきましては、慢性的に顕在化する医師不足を解消するために、医学校に進む家庭の経済的負担を軽減し、将来に亘る医師の確保を願い「東御市医学生等奨学金貸与条例」を制定するものです。

議案第 80 号から議案第 90 号まではいずれも一部を改正するもので、主なものを申し上げます。

議案第 82 号「東御市都市計画税条例の一部を改正する条例」は、この 9 月 1 日より新たに北御牧地区が都市計画区域に編入されたことに伴い、課税開始の時期を定めるものです。

議案第 86 号「東御市児童館条例の一部を改正する条例」は、

この 10 月に市内 2 箇所目として開所する柵津児童クラブの開設に伴い児童館の開館時間を変更するものです。

議案第 88 号「東御市高齢者共同住居条例の一部を改正する条例」並びに議案第 89 号「東御市文化会館条例の一部を改正する条例」は、いずれも指定管理者制度への移行を可能にするためのものです。

その他の議案の詳細につきましては、それぞれ関係部長等から提案の説明を申し上げることになりますので、宜しくお願い申し上げます。

#### (その他の案件)

その他、議案第 91 号及び議案第 92 号は、鞍掛工業団地の造成事業等に伴う市道路線の廃止と認定です。

議案第 93 号は、議会の承認をいただかなければならない請負契約の事案、議案第 94 号に関しては土地開発公社の定款に監査委員の職務を明記するものでありまして、詳細につきましては、それぞれ関係部長から提案の説明を申し上げますので、宜しくお願い申し上げます。

## (人事案件)

最後に、人事に関する案件でございますが、議案第 95 号 人権擁護委員候補者の推薦について、議会のご意見を伺いご同意をお願いするものでございます。

## むすびに

以上、本定例会に提案致します議案につきまして、その概要を申し上げます。

十分にご審議をいただきまして、それぞれの案件につきましての認定・ご決定を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

昨晚の、福田首相の突然の退陣表明により、今後の国政並びに今後の政局は益々混迷の色が濃くなります。

こんな時期だからこそ、自立したまちづくり、安定した市政運営を進めるべく邁進<sup>まいしん</sup>してまいることを改めてここにお誓い申し上げます。本定例議会招集のごあいさつと致します。